

2014 年度春季大会の告示

I. 大会の案内

1. 期 日

2014 年 5 月 21 日（水）～24 日（土）

午前：口頭，ポスター

午後：シンポジウム

第 4 日（5 月 24 日）

2. 会 場

横浜市開港記念会館

〒231-0005 横浜市中区本町 1-6

<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kaikou/>

横浜情報文化センター

〒231-0021 横浜市中区日本大通 11

午前：口頭，ポスター

午後：公開気象講演会，専門分科会

5. シンポジウム

大会第 3 日（5 月 23 日）の午後に開催予定です。
テーマは「気象学に求められる科学コミュニケーションの在り方」です。

3. 研究発表

口頭及びポスター形式で行われます。研究発表の詳細につきましては下記「IV. 研究発表要領」をご参照下さい。

6. 懇親会

大会第 2 日（5 月 22 日）の夕刻に、ローズホテル横浜（大会会場から徒歩 8 分）にて開催予定です。

4. 大会日程

大会は以下の日程で行われる予定です。

第 1 日（5 月 21 日）

午前：口頭，ポスター

午後：専門分科会

第 2 日（5 月 22 日）

午前：口頭，ポスター

午後：総会，受賞記念講演，懇親会

第 3 日（5 月 23 日）

7. 大会ウェブサイト【2014 年 1 月 7 日（火）開設予定】

本大会では、大会ウェブサイトを、2014 年 1 月 7 日（火）より開設する予定です。講演申込み受付や大会プログラムなどの詳細につきましては、こちらをご参照下さい。URL 等につきましては、気象学会ホームページ（<http://www.metsoc.or.jp/>）をご参照下さい。

II. 大会参加手続き

1. 講演を行う場合の参加申込方法

「天気」本号掲載の「日本気象学会 大会発表規程」に従って講演の申し込みを行って下さい。

原則として大会ウェブサイト上からオンラインで行って下さい。オンラインで大会予稿原稿を送付できない場合や、クレジットカードによるオンライン決済ができない場合など、止むを得ない事情がある場合は、郵送による申込を受け付けます。

なお、大会参加登録・参加費支払済みであることを講演申込資格とさせていただきますのでご注意下さい。

1.1 オンラインによる申込

- ・締切：2014 年 2 月 4 日（火）15 時（日本時間）
- ・大会ウェブサイト参照し、指示に従って申し込みをして下さい。
- ・大会ウェブサイト上で最初に個人情報と ID・パスワードの登録を行います（前回の ID・パスワードはそのまま利用することはできません。お手数ですが、改めて個人情報と ID・パスワードの登録を行って下さい）。この ID とパスワードによって登録システムにログインし、大会参加登録・講演申

込・大会予稿送付・大会参加費決済などを行います。

- ・個人情報とID・パスワードの登録は講演者本人が行ってください。申込締切後、プログラム編成を支障なく進めるために、登録された個人情報は講演者本人のものであることが必要です。また、一つのIDで、講演者の異なる2件の講演申込を行うことは控えてください。ご協力をお願いします。
- ・講演申込の前に、予め大会参加登録と大会参加費の払込(クレジットカード決済)を行って下さい。大会参加登録と大会参加費の決済が行われていない場合、講演申込は受け付けられません。
- ・オンライン決済の際には、個人情報登録者本人以外の名義のクレジットカードも使用可能です。
- ・大会予稿原稿もウェブサイトよりご送付下さい。ファイル形式はPDF(容量の上限は1MB)に限ります。
- ・大会予稿原稿を投稿する際には、ウェブサイト上で著作権委譲に同意する必要があります。
- ・講演に関する要望がある場合は所定の欄に記入して下さい。要望事項は、プログラム編成時に可能な限り考慮するように努めますが、諸事情により要望に沿えない場合があるのでご了承下さい。なお、口頭発表の発表日時の希望は原則として受け付けません。また個別の要望についての回答は致しませんので、併せてご承知おき下さい。
- ・講演申込み締め切り(2月4日(火)15時)までは、ウェブサイト上において、一旦申し込んだ講演申込の登録内容の修正や大会予稿原稿の差し替えなどを行うことができます。ただし講演のキャンセルはできません。
- ・締め切り後の講演申込や大会予稿原稿の差し替え等は受け付けません。

1.2 郵送による申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・締切：2014年1月28日(火)(消印有効)
(オンライン申込に比べて締切日が1週間早くなっています。ご注意下さい。)
- ・以下の4点を講演企画委員会事務局(下記)まで電子メールまたは郵送にてお送り下さい。
 - ① 大会予稿原稿(電子メールの場合はPDF形式)

② 講演者氏名(漢字とローマ字)、所属、所属略称、会員番号、発表形式、連絡先(住所・電話番号・E-mailアドレス)、講演題目、主・副キーワード、参加種別(講演者A/講演者B)、懇親会(参加/不参加)、その他必要事項を書いたもの(様式は自由)

③ 郵便振替払込受領証またはそのコピー(次項参照)

④ 全ての著者のサインを記載した著作権委譲承諾書(フォーマットは以下に掲載)

http://www.metsoc.or.jp/E/msj_copyright.pdf

送付先(電子メールの場合):

kouenkikaku2014s@mri-jma.go.jp

(件名に「講演申込2014s」と明記して下さい。)

送付先(郵送の場合):

〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1

気象研究所予報研究部内

気象学会講演企画委員会事務局

(封筒の表に「講演申込」と朱書して下さい。)

・講演申込の前に、以下の要領に従って郵便振替によって大会参加費を納入して下さい。

一口座番号は「00130-3-5958」,

加入者名は「日本気象学会」です。

—「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。

①「2014年度春季大会参加申込」と明記

②会員番号(非会員の場合は「非会員」と明記)

③大会参加種別(講演者Aまたは講演者B)

④大会参加費金額

⑤懇親会費金額

⑥合計金額

—「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名・電話番号をもれなく記入して下さい。

—払込料金は本人負担をお願いします。

1.3 講演のキャンセルについて

- ・講演申込み後は、講演のキャンセルは原則として受け付けられません。止むを得ず大会参加や発表を取り止める場合でも、すでに支払われた参加費・懇親会費は返却しませんのでご注意下さい。
- ・講演者の都合が悪くなった場合の代理発表につきましては、柔軟に対応いたしますので講演企画委員会(kouenkikaku2014s@mri-jma.go.jp)までご相談下さい。

2. 講演をしない（聴講のみ）場合の参加手続き

以下のいずれかの方法で参加費等を納入して下さい。事務負担軽減のため、なるべくオンライン（大会ウェブサイト）による事前登録をご利用下さい。

2.1 オンラインによる申込

2014年4月8日（火）までに大会ウェブサイトに参加登録し、参加費を払い込んで下さい（クレジットカード決済のみ）。期日までに参加費の払い込みが済まされない場合は、参加登録は無効となります。

2.2 郵送による申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・2014年4月1日（火）までに、郵便振替で参加費を払い込んで下さい。
- －口座番号は「00130-3-5958」。
- －加入者名は「日本気象学会」です。
- －「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。
 - ①「2014年度春季大会参加申込」と明記
 - ②大会参加種別（聴講者）
 - ③大会参加費金額
 - ④懇親会費金額
 - ⑤合計金額
- －「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名・電話番号をもれなく記入して下さい。
- －払込料金は本人負担をお願いします。

2.3 大会当日に会場で申込

当日会場で参加登録をして、参加費を現金で支払って下さい（当日料金は前納と比べて割高となっていますのでご注意下さい）。

3. 参加費、懇親会費

3.1 大会参加費

- ・大会参加費（消費税込）は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者 A	8,000 円	—
講演者 B	5,000 円	—
聴講者	3,000 円	4,000 円

- ・講演者の種別：

講演者 A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）

講演者 B：講演者 A に該当しない講演者

- ・講演件数が2件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。

3.2 懇親会費

- ・懇親会費（消費税込）は以下の表の通りです。世代を問わず多くの方々に参加していただき交流を深めたいと思います。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	6,000 円	7,000 円
学生	2,000 円	3,000 円

- ・懇親会費はオンラインもしくは郵便振替で参加費と同時に前納することが出来ます。期日までに懇親会費の払い込みが済まされない場合は、前納による参加登録は無効となります。当日料金は前納と比べて割高となっていますのでご注意下さい。

3.3 その他

- ・一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- ・大会参加費・懇親会費の種別は、支払い時点での所属によって判断して下さい。一旦支払われたあとの所属変更などによる種別の変更はいたしません（追加の支払い請求や差額の払い戻しなどは行いません）。
- ・領収書は大会当日受付で発行させて頂く予定です。
- ・参加当日は、参加登録・決裁完了メールのプリントアウト等を持参いただけると、よりスムーズに受付を行うことが可能です。

Ⅲ. 大会予稿原稿作成要領

1. 原稿サイズ・枚数

1 件あたり A4 判 1 枚とします。

2. 作成方法

大会ウェブサイトから申込みをする場合のファイル形式は PDF（容量の上限は 1 MB）とします。郵送する場合は A4 用紙に直接出力するか、別紙に作成した文書・図表を用紙に糊付けして下さい。

3. 印刷

原稿は B5 サイズに縮小されて白黒でダイレクト製版されます。階調のある写真や図は、明瞭度が落ちる場合がありますので作成時にはご注意ください。特に、カラーの写真や図は明瞭度が極端に落ちる場合がありますので、予めご承知おき下さい。

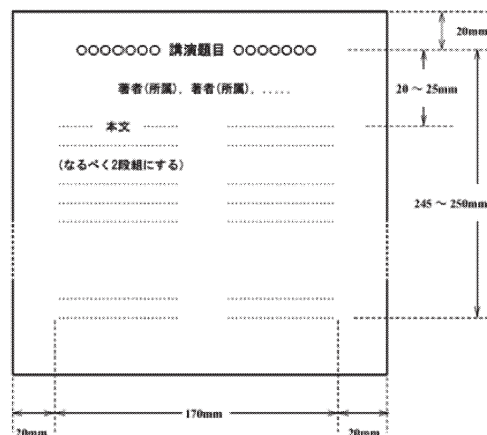
4. 配置（付図参照）

記載範囲は縦 250mm×横 170mm 以内とし、上部には 20mm の余白をとって下さい。最上段に講演題目、その下に著者と所属を書き、本文をその下につけて下さい。著者が複数の場合には講演者の左肩に＊をつけて下さい。講演題目から本文までの間隔は 20～25mm として下さい。本文は原則として 2 段組

（左半分→右半分）にして下さい。

5. 著作権

予稿集に掲載された文章および図表の著作権は（公社）日本気象学会に帰属します。



図：A4 判用紙による大会予稿原稿の作成要領

Ⅳ. 研究発表要領

1. 発表の種類

講演方法には、口頭発表（専門分科会を含む）とポスター発表の 2 種類があります。

2. 発表件数の制限

1 講演者あたりの発表件数は 2 件以内とします。ただし内容がほぼ同一と見なされるテーマでの 2 件の発表は認められません。この制限に抵触する申込があった場合には、講演企画委員会が適切に対応します。

3. 講演方法の選択について

講演方法（口頭／ポスター）につきましては講演申込時に選択できますが、申込件数や会場の都合等により希望通りにならない場合があることを予めご

了承下さい。なお、講演申込時に講演方法の希望がない場合は、講演企画委員会の裁量で振り分けを行います。

4. 口頭発表の概要

口頭発表の講演時間は全て同一とします。1 件あたりの講演時間は、口頭発表に配分された時間の総計を申込件数で割ったものを目安として講演企画委員会が決定し、大会プログラムに掲載します。

5. 専門分科会の概要

- ・専門分科会は、大会第 1 日（5 月 21 日（水））及び大会第 4 日（5 月 24 日（土））の午後開催予定です。
- ・専門分科会の各講演の講演時間はコンビナーが

決定し、大会プログラムに掲載します。

- ・専門分科会への講演申込み締切日は一般講演と同じ（オンライン申込は2月4日（火）、郵送申込は1月28日（火））です。
- ・専門分科会に申し込まれた発表については、コンビナーが大会予稿原稿を審査して、専門分科会での発表を認めるかどうかを判断します。
- ・専門分科会に申し込まれた発表が、コンビナーによって専門分科会に適さないと判断された場合には、一般発表に振り替えます。
- ・各専門分科会の詳細につきましては、「V. 専門分科会のテーマと趣旨」をご参照下さい。

6. ポスター発表の概要

- ・ポスター発表の時間は1時間程度とします。ポスター発表の時間には他の行事は行われません。
- ・ポスターの掲示・撤去は、講演者の責任で行って頂きます。
- ・掲示スペースは、縦130 cm×横90 cm（A0相当）とします。なお、ポスターは大きな紙1枚に書く必要はなく、小さい紙に分けて書いたものを当日並べて掲示しても構いません。

7. 講演における機器の使用について

- ・口頭発表（専門分科会を含む）につきましては、PCプロジェクターが使用できます。それ以外の機器は使用できません。
- ・PCプロジェクターを使用する場合は、以下の点に留意して下さい。
ーパソコンは各自でご準備下さい。会場にはプロジェクター及び接続ケーブルのみを準備します。

ーセッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。接続に不安がある場合は、その際に会場係に申し出て下さい。

ー突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をすることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

- ・ポスター会場での機器の使用を希望する場合は、機器の名称およびその使用方法を、講演申込み時に届け出てください。口頭発表への申し込みをする場合も、プログラム編成上の都合によりポスター発表に振替られた時に、機器を使用する可能性があれば同様に届け出てください。ただし会場の都合により、その要望が受け入れられる保証はありません。

8. その他

- ・大会プログラムは「天気」4月号及び大会ウェブサイトに掲載されます。
- ・口頭発表セッションにおける座長は、テーマごとに発表者の中から選ばれることが多くなっています。講演企画委員会が、座長候補者を選び、候補者へはその承諾に関する打診を行いますので、その際にはご協力願います。

V. 専門分科会のテーマと趣旨

2014年度春季大会では下記の通り、3件の専門分科会が開かれます。

1. 「モンスーン・熱帯気象研究の新たなブレイクスルーを目指してー村上多喜雄先生追悼特別セッションー」

趣旨：ハワイ大学名誉教授の村上多喜雄先生が2013

年7月16日に急逝されました。村上先生は世界的に著名なモンスーン・熱帯気象研究者で、数多くの論文や著作を通じてモンスーン・熱帯気象学の発展へ多大な貢献をされたと同時に、日本の熱帯気象学の国際的地位の向上にも尽力されました。また、多くの日本の若手研究者をハワイ大学に積極的に受け入れ、共同研究を通してその育成にも

尽力されました。本分科会では、観測研究から、データ解析、数値シミュレーションに至る様々な手法に基づいた、モンスーンや熱帯気象関連研究を話題提供して頂くことで、先生が関わられた分野の新たな研究のパラダイムの構築の一助にしたいと考えております。レビューやプレリミナリーな研究報告や観測速報もご提供いただけたらと考えております。大学院生や若手研究者の研究の長所を大いに褒めて勇気づけていただいた村上先生のご教育研究姿勢を規範とし、次代を担う大学院生など若手の発表を大いに歓迎します。

コンビーナー：川村隆一（九州大学）、松本淳（首都大学東京）、中澤哲夫（世界気象機関）、住明正（国立環境研究所）

2. 「都市における気候変動適応研究の最先端」

趣旨：文部科学省・気候変動適応研究推進プログラム(通称 RECCA)の都市研究領域では現在、集中豪雨、異常高温、ヒートアイランド等、気候変動による都市圏への影響およびその適応策や、低炭素社会の実現に向けた研究を実施している。本専門分科会では、RECCA における成果を中心に、都市圏の気候変動適応策策定に資する高解像度気象・気候モデルに関連した気象・気候学的課題の集中的な議論を行い、この課題に関する理解を深めたい。特に、1) 都市圏を対象にした気象・気候モデルの高度化、2) ビルスケールモデルへのダウンスケールリングやパラメタリゼーション、3) 都市圏の土地被覆・土地利用変化、4) いろいろな構造物・街路樹を含む適応策評価等のモデル化、5) これらのモデル化に必要な情報に関するデータベースの整備、6) 都市域におけるデータ同化とそれに使用する観測データ等に対する新しい考え方とその評価手法等について、RECCA 課題にお

ける研究成果を紹介するとともに、この分野の研究を行っている研究者の一般講演も募集する。

コンビーナー：大楽浩司（防災科学技術研究所）、高橋桂子（海洋研究開発機構）、飯塚悟（名古屋大学）、中島映至（東京大学）、近藤裕昭（産業技術総合研究所）

3. 「都市における極端気象」

趣旨：高度に発達した交通網や通信網を有し、数百万人以上の人々が生活する大都市には、台風、集中豪雨、落雷、突風などの激しい気象擾乱に対する脆弱性が内在しています。今後の気候変動に伴って懸念される局地的な豪雨の多発化や巨大台風の発生は都市型災害の被害を甚大化する可能性が高く、局地的大雨・強風などの極端気象の監視・予測技術の確立は急務です。当専門分科会では都市における極端気象に関し、以下の3つの主題について議論を行います：

1. 極端気象のメカニズム解明,
 - a. 新たな観測技術の開発
 - b. メカニズム解明
 - c. 統計解析
2. 極端気象の監視・予測システムの開発,
 - a. 発生予測手法の開発
 - b. 監視・予測システムの開発と運用
 - c. データベース構築
3. 極端気象に強い都市創り社会実験
 - a. 救助活動
 - b. 危機管理
 - c. 社会基盤
 - d. 生活・教育

コンビーナー：小司禎教（気象研究所）、三隅良平（防災科学技術研究所）

VI. 非会員の大会講演について

気象学会会員でない方は原則として大会講演を行うことは出来ません。しかしながら、短期滞在の外国人や他分野の研究者が気象学会において講演を行う場合を考慮して、講演企画委員会では以下の条件

を満たすものに限り非会員が大会講演を行うことを認めています。

1. 共著者の中に会員が含まれていれば、非会員の講演を認める（大会予稿に会員である共著

者の氏名と所属を明記すること)。

2. ただし、専門分科会に関しては各コンピーナーの判断にゆだねる。

なお、講演企画委員会としては、継続的に大会発表を行いたい人には会員になって頂くよう強く要請します。

Ⅶ. 研究会活動への支援について

講演企画委員会では、大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し、一般の会員が自由に参加できることを条件として、可能な支援をします。支援を希望する方は、次の事項を明記の上、講演企画委員会（E-mail: kouenkikaku2014s@mri-jma.go.jp）へ申し込んで下さい。

申込期限：2014年2月4日（火）

- 記入事項：1. 会の名称とテーマ
2. 代表者の連絡先
3. 希望日時・開催場所
4. 予想参加人数
5. 希望する支援内容

Ⅷ. 大会期間中の保育支援について

大会実行委員会では、保育施設の斡旋ならびに施設利用料の一部補助を行います。保育施設としては、次の横浜市認可保育所を紹介予定です。

「ラフ・クルー元町保育園」

<http://www.laugh-crew.net/nursery/motomachi/outline.html>

横浜市中区石川町 2-64 プラザセレス石川 2F

利用料金（8:00-19:00）：3歳児未満 2,400 円/日、3歳児以上 1,300 円/日、給食（離乳食含）350 円/回、おやつ（離乳食含）150 円/回、補食 150 円/回

利用を希望される方は、4月17日（木）までに下記担当までご連絡下さい。

期日を過ぎた場合や、人数の都合によっては他の保育施設をご紹介させて頂く場合もございます。なお、利用料の一部補助につきましては、上記以外の保育施設を利用される方も、この対象になります。希望される方は下記担当までご連絡ください。

連絡先：服部 美紀（海洋研究開発機構）

E-mail: msj2014req@jamstec.go.jp

TEL: 046-867-9254

Ⅸ. キャリアエクスプローラーロゴについて

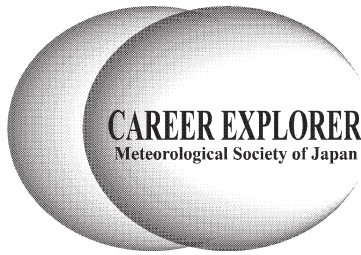
1. キャリアエクスプローラーロゴの趣旨

近年、社会問題化している若手・任期付研究者のキャリア形成をサポートするために、日本気象学会では、キャリアエクスプローラーロゴの利用を勧めています。これは、広く学術に貢献する人材の育成および活動支援の一貫として行うもので、会員が望ましいキャリア形成のために求職中の場合に、適職

に出会うのをサポートします。

2. キャリアエクスプローラーロゴ

大会予稿や講演資料の中でこれを表示することで自分が求職中であることを表明できます。カラーと白黒のロゴの電子データを学会ホームページから取得できます。



3. 使用方法

ポスドクを含む任期付研究者や学生で求職中の会員、またはそれに準ずる会員が講演する場合に、大会予稿および講演資料の中で、キャリアエクスプローラーロゴを使用できます。

1. 大会予稿：白黒ロゴを、講演タイトルの左側に、余白にはみ出さないよう適度な大きさに挿入してください。

2. 口頭発表：発表資料の任意の場所に分かりやすく表示してください。
3. ポスター発表：講演題目付近の分かりやすい場所に表示してください。

4. 使用に関する注意

1. 日本気象学会およびその会員の主催する講演会においてのみ使用できます。
2. 講演会は学術的な講演・議論を目的に行われます。口頭発表の時間内は、求職・求人に関する議論はご遠慮ください。
3. ロゴは講演者本人の責任の下で使用してください。その使用により生じた如何なる利益・不利益に対しても、日本気象学会は一切責任を負いません。
4. ロゴ導入の趣旨および適切な使用方法を逸脱した使用は一切認められません。

X. リクルートブースの設置について

日本気象学会は、若手・任期付研究者のキャリア形成をサポートするために、大会会場にてリクルートブースを設置する予定です。これは、気象学会に所属する大学院生や有期雇用の若手研究者が、広く民間企業にて適職に出会えるのをサポートするために、申し出のあった企業の就職担当者に会場に来て頂き、

就職を希望する参加者と直接情報交換する場を提供する取り組みです。ブース訪問希望者の参加予約等の手続は不要です。

なお、参加企業名は大会プログラムとともに発表の予定です。